



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく輝し たくましく生活する」

# 葦山だより

住所:伊豆の国市葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年5月13日発行

第7号

## 挑戦することを楽しむ～志龍塾講演会～

伊豆の国市立葦山中学校 手島雅恵

今回の志龍塾講師の松本整先生です。先生はケイリン選手として活躍し、オリンピックに5回出場されたオリンピックピアンです。



4/26(金)に、伊豆の国市主催で講演会「志龍塾」を行いました。志龍塾では子供たちの夢や希望への応援のために、様々な分野で活躍している方々を招聘してお話をいただいています。今回は「CLUB KONG」の代表取締役で日本体育協会公認アスレティックトレーナーの松本整氏をお迎えしました。松本先生は自転車競技でオリンピックを経験されており、だからこそ一つの言葉により重みを感じました。松本先生はビル・ゲイツ氏の言葉「挑戦は失敗とセットになっている。失敗から学ぶ。失敗をどのように扱うかが成功より重要」を引用し、次のようなことを話されました。

☆挑戦はほとんど失敗します。まず走りだそうとすることが大事なんです。何回もやっているうちに、成功につながります。でも、それで終わりではありません。

☆この世に変化しないものはありません。何もしなければ自動的にじっくりと変化に負けていくだけです。だから挑戦し続けたいんです。

☆「〇〇だったら」「△△していれば」という「たら・れば」はもったいないです。明日はないかもしれない、だから今を一生懸命頑張るのです。一日一日を無駄にせず、今やれる最大限のことをしていきましょう。

☆人には結果よりも大切なものがあります。それはプロセスです。挑戦を楽しみましょう。

松本先生の前向きで優しい人柄に子供たちは安心感を持ってお話を受け止めていました。とてもいい時間を過ごすことができました。

【生徒感想より】

○今まで失敗することが怖かったけれど講演を聴いて失敗しても何度でも立ち上がろうという気持ちになりました。また「運命は変えることができる」ということが分かったので、これからのいい未来になるように努力していきたいです。(3年佐々木清里さん)

○運命は決まっていないのだからどんどんチャレンジしていきたいと思いました。栄養もしっかりととり、大人になったら何か大きなことをしたいです。

(2年名取海人さん)



松井生徒会長が松本整先生に代表の言葉を述べ、その後、全員でお礼の挨拶をしました。

# 主体的・対話的な活動のある授業づくり



A<sup>b</sup>e



一時間の授業において子供たちは様々な体験的活動をしています。音楽では先生による生演奏が流れている間に学習のまとめをしています。その時間と疑問がとても心地よく感じました。英語ではA・L・I・Tのシヨザリン先生と一緒にゲームをする2年生。ヘアになって「速く読むスキル学習」を行う3年生の姿、質問に対して素早く英語で応える一人の息がよくなりました。社会科では班で調べたことを発表し、質問等を受けながら協議している子供たちの姿が生き生きしていました。数学では黒板の問題について何人かの生徒が解答を記述していました。その間周りの生徒は自分の解答と比較していました。

様々な体験的活動により子供たちの学びに向かう主体性と意欲は高められています。研習は学びたいことを楽しみたいとわらう。



## 辞書を引く習慣化

写真のように3年生が国語の授業の中で辞書引きを行っていました。今は電子辞書やインターネット検索で簡単に調べることができます。しかし、辞書を引き、活字を読み

ながら、それぞれの文字の成り立ちや意味等をじっくりと学んでいくことは自分の知識としての習得状況が大きく変わるように思います。便利な時代の中で、その時々で道具を使い分けていくことは大切なことです。辞書づくりに関わっている方々の言語に対する探究心は辞書そのものから伝わってきます。

保護者の方からのご意見・感想  
 ( )年( )組( )  
 ( )生徒名 ( )

※体調やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことがあっても遠慮なくお知らせください。